

さざなみ

須崎市教育研究所 発行
令和5年9月22日

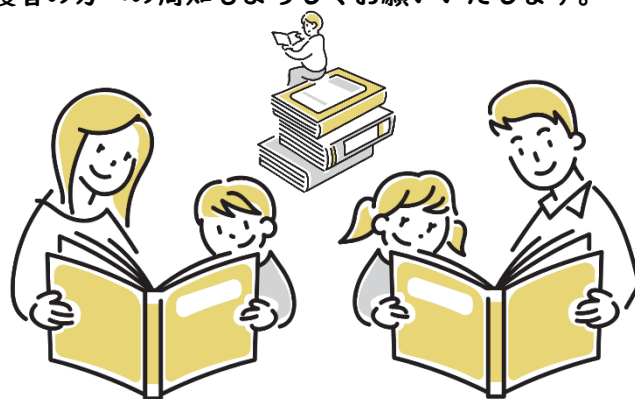
選書会

2学期がスタートしてしばらく経ちました。まだ日中は暑い日が続いていますが、朝夕の風は秋の雰囲気です。さて、「〇〇の秋」と言えば皆さんは何を思い浮かべるでしょう。——そうですね、「読書の秋」ですね。今年度も選書会の時期がやってまいりました。

各校の選書会のご担当者の先生方には、日程調整についてご協力をいただきました。ありがとうございました。既に各校には配布しておりますが、以下の日程で選書会を行います。お手数ではございますが、選書会会場の準備のご協力をよろしくお願いいたします。

9月25日(月)	南小中学校
9月26日(火)	須崎小学校
10月10日(火)	上分小中学校 新荘小学校
10月11日(水)	須崎中学校 安和小学校
10月16日(月)	吾桑小学校
10月17日(火)	浦ノ内小学校
10月18日(水)	多ノ郷小学校
10月31日(火)	浦ノ内中学校
11月1日(水)	朝ヶ丘中学校

尚、既にご存じかとは思いますが、選書会には保護者の方もご参加いただけます。その場合、その学校に在籍しているお子さんの人数分の本を申し込んでいただけます。是非、保護者の方への周知もよろしくお願いいたします。



ICTのとびら

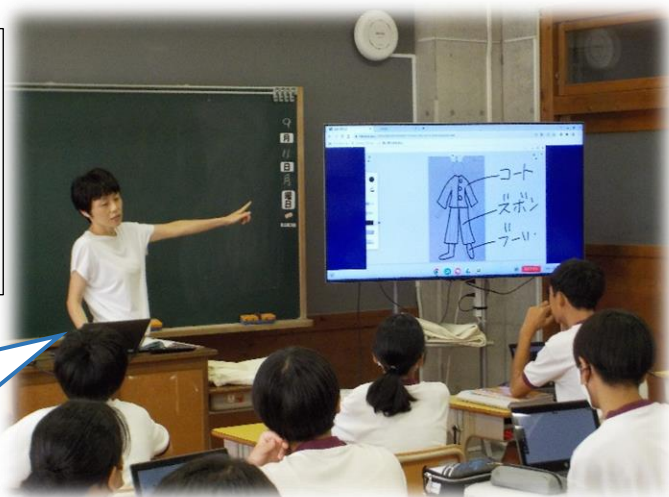
これまでは紙で実施していたものをタブレットに置き換えた事例をご紹介します。

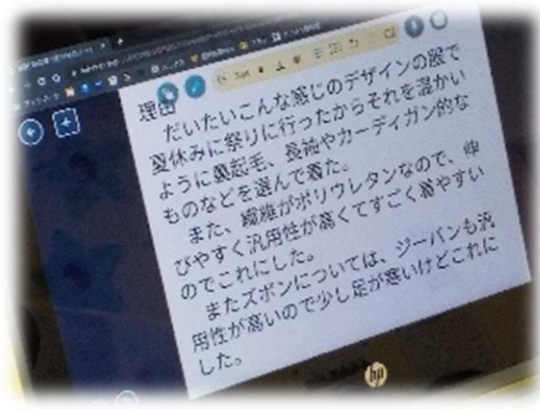
TPOに合ったコーディネートを考える授業です。ロイロノートではイラストが描きにくい、ということだったので「chrome 描画キャンバス」を活用しました。



←このアイコンです。現段階では、県からログインが許可されていないらしく、他の端末との同期ができませんが、個人持ちのタブレットがあるので、あまり不都合は感じません。

同じアプリで描く様子を画面収録で撮影し、生徒に説明しています。生徒と同じ画面で説明するので、生徒もイメージがしやすいです。





「TPOに合ったコーディネートを考える」ということで、生徒一人ひとりがこれまでに学習してきたことを生かしてコーディネートを考えました。また、なぜそのコーディネートにしたのかをテキストで提出させていました。タブレットに置き換えたメリットは「配布・回収の省略」「(消すのが容易なので) 試行錯誤がしやすい」といったことが挙げられます。また、手で書くのが苦手な生徒がタイピングなら抵抗なく書ける、という場合もあるようです。

こういった授業での活用方法を紹介すると、**学校でのICT活用**=**学習ツールの活用**と捉えられがちなのですが、これからの社会に出ていく児童生徒にとっては純粋にICT機器を活用する力も大切だと思います。以下、私が特別支援教育セミナーⅠ「ICTを活用した特別支援教育の在り方」で学習してきたことを共有いたします。

「ADHDの傾向のある児童生徒が指示を聞き漏らすのは、本人の努力不足ではない」という認識は教育現場だけでなく社会でも広く認識されるようになってきていると思います。では、そういった児童生徒への支援として「ボイスメモ（録音）」等の使用を許可している学校（或いは学級）はどれくらいあるのでしょうか。困ったことがあったときに、自分で判断してICT機器を活用する力を身に付けている、ということは、社会に出た際の武器になります。

困難さ

ICT機器によるサポート

- | | | |
|------|---|-------------|
| 聞くこと | ⇒ | 録音やメモ |
| 話すこと | ⇒ | チャットによるサポート |
| 読むこと | ⇒ | 読み上げ機能 |
| 書くこと | ⇒ | タイピング |

これらは児童生徒が抱える困り感と、それを解消するための使用例です。黒板の文字をノートに写すのに困っているなら黒板を撮影して手元に置いておくなど、他の活用方法もあると思います。是非、一人ひとりに応じたより良い活用方法を検討してみてください。